

令和6年第2回燕市議会定例会
一般質問日程表

質 問 日		質 問 者			質 問 方 式	
					一括質問	一問一答
6月14日(金)	午前	1	高橋 妙子 議員		○	
	午後	2	藤井 秀人 議員		○	
		3	齋藤 和也 議員		○	
		4	近藤 隆行 議員		○	
17日(月)	午前	5	大島 靖浩 議員		○	
		6	長井由喜雄 議員		○	
	午後	7	佐野 大輔 議員		○	
		8	小林 由明 議員		○	
		9	土田 昇 議員		○	
		10	岡山 秀義 議員		○	
18日(火)	午前	11	タナカ・キン 議員		○	
		12	渡邊 雄三 議員		○	
	午後	13	稲村 隆行 議員		○	
		14	小林 秋光 議員		○	
		15	宮路 敏裕 議員		○	
		16	田中 淑子 議員		○	

令和6年第2回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発 言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
1	高橋 妙子 (一問一答方式)	1. 道路整備 について	(1) 渋滞問題と国道289号線の将来像について	<p>国道289号は、商業施設やスーパー等新しく出来てきており活気に溢れてきております。</p> <p>交通利便性の観点から見ても、すぐに行ける場所にそうした施設ができるということはとても重要なことだと思っています。</p> <p>しかし、交通量が多く、平日休日を問わず、渋滞が発生する問題があることも事実です。</p> <p>①国道289号の渋滞問題に関して市の認識を伺います。</p> <p>②一般国道289号燕北バイパスの朝日大橋を含む一部区間が開通しましたが、現在の事業進捗状況を伺います。</p>
			(2) 小池工業団地南側へのアクセス道路の整備について	<p>さらなる産業の発展、物流経路の効率化を図るために小池工業団地南側へのアクセス道路の整備の検討が燕市都市計画マスタープランで示されました。</p> <p>この道路を整備することにより、地域の産業経済活動を支え、そして市民生活の利便性の向上を図ることを広く理解していただきながら、地域や近隣自治体との連携を図って進めていくことが重要と考えます。</p> <p>長期的な視点での将来像と認識はしておりますが、質問させていただきます。</p> <p>①小池工業団地南側から栄スマートインターチェンジへのアクセス道路の整備に関して、市の考えを伺います。</p>
		2. 観光について	(1) 燕市の観光資源と着地型観光への取り組みについて	<p>長く燕市に住んでいますと、本来市が持つ地域資源になかなか気づけない場合もありますが、燕市の魅力を活かした持続性のある観光の実現の可能性は高いと認識しております。</p> <p>海外からのインバウンド需要も回復しつつある現状も踏まえ、質問させていただきます。</p> <p>①観光動向調査事業の実施方法等に関して伺います。</p> <p>②インバウンド効果を図るための取り組みに関して伺います。</p> <p>③燕市の主要な観光資源の拡充の取り組みについて伺います。</p>
			(2) 国上における観光資源について	<p>①国上山は佐渡弥彦米山国定公園に指定されており、動植物をみだりに採取・捕獲してはいけないとされています。</p> <p>新潟県指定植物である草花も咲いており、「国上の自然」はとても貴重であり、これから守っていくべき観光資源であると考えます。国上山の可能性と、その魅力をさらに引き出し、活かしていくための取り組みに関して伺います。</p>

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
1	高橋 妙子 (一問一 答方式)	2. 観光につ いて	(3) 分水ビ ジターサ ービスセ ンターに ついて	<p>分水ビジターサービスセンターを利用されるのは国上山登山客の方が大半だと思いますが、観光客の方々が分水サービスセンター内で地域観光情報を得ることにより、国上以外の地域観光に興味を持ってもらい、また市内の既存施設に足を運ぶきっかけとなる大きな役割を担っていると思っています。</p> <p>国上山の案内、休憩や避難、管理運営の促進機能を備えた施設である分水ビジターサービスセンターですが、今後の方向性を検討する時期に入ってきたと認識しています。</p> <p>以上のことを踏まえ、質問させていただきます。</p> <p>①良寛様及び歴史民族に関する資料の維持管理はどのようにされているか伺います。</p> <p>②観光客の方々が分水ビジターサービスセンターにおいて聞いていかれる質問等は把握されているか伺います。</p> <p>③12月～2月の冬季閉店の間は掃除等のトイレ管理はどのようにされているか伺います。</p> <p>④地域おこし協力隊の国上地域活性化業務の中でも、分水ビジターサービスセンターの活性化は非常に重要な業務と認識しているが、活動内容を伺います。</p> <p>⑤保有量適正化取組方針において、分水ビジターサービスセンターは廃止を含めた方向性の検討の時期に入ってきています。</p> <p>利用者数や収益の推移を踏まえての検討と認識していますが、しっかりとした方向性が決まるまでは保養観光施設としての機能と役割を發揮させながら取り組むべきと思いますが考えを伺います。</p>
2	藤井 秀人 (一問一 答方式)	1. 今後の国 上山周辺の 取り組みに ついて	(1) 今後の 国上山周 辺の取り 組み、考 え方は	<p>①市長としての4期目の任期も半分過ぎ、残任期間での国上山周辺の新たな取り組みがあれば、また、描かれている最終的な姿、目標があれば伺いたい。</p> <p>②道の駅は活性化により、来客数も増え、駐車場の確保も必要となったが、リニューアル後の来客数の変化はどのような推移か伺う。</p> <p>③更なる誘客の為の近隣道路なども含め、広告看板等の設置は考えられていないのか伺う。</p> <p>④道の駅の駐車場を増設確保する事によって来客数も多く見込む事が出来るが、車の出入口も含め、駐車場の対応はどのように考えているのか伺う。</p>
			(2) 良寛史 料館移転 について	<p>①移転予定地周辺に地震の断層があると思われるが、影響がないか懸念される。その認識はあるか伺う。</p> <p>②移転予定地近隣に、国営事業のずい道が通っているが、建設時影響等の懸念はないのか伺う。</p> <p>③史料館移転に伴って、文化財の保管場所も併設確保されているのか伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
2	藤井 秀人 (一問一答方式)	2. 分水・地藏堂中村家について	(1) 分水・地藏堂中村家について	<p>① 良寛研究者の聖地である、中村家の売却の話が現在出ている。良寛に関する貴重なものがあると思われるが、認識されているのか伺う。</p> <p>② 良寛研究者、地元地域からも、何とか残したいという話が出ているが、何か対応は考えられないのか伺う。</p>
3	齋藤 和也 (一問一答方式)	1. 地域おこし協力隊について	(1) 地域おこし協力隊について	<p>地域おこし協力隊は、地方自治体が都市部からの人材を募り、地域の課題解決や地域振興に取り組むための制度です。都市部の人材が地域に新しい視点やスキルを持ち込み、地域活性化に繋がるだけでなく、隊員が移住し、地域に定住することで人口の増加や地域の特色ある資源を活用した地域の魅力発信が期待されます。隊員自身も地域での活動を通じて新しいスキルや経験を得ることができます。一方で隊員の任期は通常1～3年程度のため、プロジェクトの継続性が確保されないことや都市部から来た人材と地元住民との間で意見や価値観の違いから摩擦が生じることがあります。隊員の活動が一時的なもので終わり、地域に根付かない場合も想定でき、地方自治体にとっても隊員の生活費や活動費用の負担が増えることがあります。地域おこし協力隊は、地方の活性化や人口増加を目指す重要な制度ですが、その効果を持続させるためには、地元住民との連携やプロジェクトの継続性を確保するための仕組み作りが重要です。メリットとデメリットを理解し、長期的な視点で取り組むことが求められます。以上を踏まえ、以下の内容を伺います。</p> <p>① 昨年度までの地域おこし協力隊の状況や成果について伺います。</p> <p>② 今年度の地域おこし協力隊の現状について伺います。</p> <p>③ 燕市は地域おこし協力隊の制度をどのように活用していくのか、今後の展望について伺います。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
3	齋藤和也 (一問一答方式)	2. 生成AIについて	(1) 燕市での取り組みについて	<p>生成AIはデータを入力として受け取り、新しいデータを生成する人工知能の一種です。代表的な技術には、画像生成、文章生成、音声合成などが含まれます。chatGPTをはじめとする、生成AIは近年で著しく進化を遂げ、誰でも活用できるようになってまいりました。生成AIを活用したチャットボットで市民の問い合わせに24時間対応化、手続き案内やFAQの自動応答、または交通渋滞の予測、防災計画の策定、犯罪予防など生成AIを用いた大規模データの解析、教育コンテンツやトレーニングプログラムを自動生成し、公務員のスキル向上を図ることすらもできるようになっています。</p> <p>以上を踏まえ、以下の内容を伺います。</p> <p>①燕市での生成AIの取り組みや活用状況について伺います。</p> <p>②今後のどのように生成AIを活用していくのかについて伺います。</p>
			(2) 教育委員会での取り組みや対応について	<p>中項目(1)と同様に生成AIを活用した教育システムや指導も今後早急に必要になると考えます。</p> <p>以上を踏まえ、以下の内容を伺います。</p> <p>①燕市教育委員会での生成AIの取り組みや活用状況について伺います。</p> <p>②今後どのように生成AIを活用し、子どもたちに指導していくのかについて伺います。</p>
		3. 相続登記について	(1) 取り組みや対応について	<p>不動産の所有者不明問題を解消するために、2024年4月1日から相続登記が義務化されました。相続登記を義務化することで、土地や家の持ち主が明確になり、日本全体がもっと暮らしやすく、便利になるかと思えます。相続登記がされない場合、個々の土地の問題にとどまらず、地域社会全体に悪影響を及ぼす可能性があります。所有者不明土地の増加や管理の問題、経済活動の停滞、家族間トラブルの増加など、様々な問題が複合的に発生することが予想されます。以上を踏まえ、以下の内容を伺います。</p> <p>①相続登記の義務化について、どのように住民に周知されているのかについて伺います。</p> <p>②相続登記を進める際に発生するトラブルを防ぐための相談窓口やサポートについてあるのか伺います。</p>

発言の順序	発言する員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
4	近藤 隆行 (一問一答方式)	1. 産後ケア事業について	(1) 産後ケア事業の利用状況について	<p>①産後母親の体は、出産による大きなダメージを負っており、心身ともに非常にデリケートな状態にある。この期間に、家族や専門家の援助がないままに出産直後から育児を頑張ってしまう、心身の健康を損なってしまう女性も多いのが現状である。そしてその状態が続けば、産後うつとなり、児童虐待につながる可能性もある。</p> <p>このような家庭内での虐待やネグレクトが、年々増加傾向となっていることから、母親の心理的・身体的サポートを目的とした、産後ケア事業の重要性は高まっている。</p> <p>そこで市の産後ケア事業の利用状況を伺う。</p> <p>②産後ケア事業の現状の周知方法について伺う。</p>
			(2) 利用しやすい産後ケア事業について	<p>①市では今年度より訪問型の産後ケア事業も助成対象となった。訪問型は、助産師等が自宅に直接訪問することで、母子が移動せずに産後ケアが受けられ負担が少ない一方、複数回の利用ができるのであれば、同じ助産師からケアを受けたいという要望もある。市の訪問型の産後ケア事業は、どのような体制になっているのか伺う。</p> <p>②他の自治体では、同じ助産師が専任として継続的に妊産婦をケア、サポートする「My助産師制度」がある。訪問型の産後ケアにおいても、必要な制度と考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>③市は産後ケア事業の対象として、「生後12ヵ月未満のお子さん」としているが、委託医療機関等の対象月齢が、生後3ヵ月未満の機関が大部分を占めている。今後委託機関等の拡充はあるのか伺う。</p> <p>④てまりの湯では「ばばまま温泉」が開催されている。「ばばまま温泉」は産後ケア事業の一つかと思うが、市の認識と、連携などがあるのか伺う。</p>
		2. 充実した福祉サービスについて	(1) 難聴者に対する窓口対応について	<p>①高齢化社会の現代において、高齢者の人口の割合は大きく増加傾向にある。それに伴い、耳が遠くなる、いわゆる加齢性難聴と言われるが、そのような高齢者も増加傾向にある。</p> <p>市役所の窓口では、そのような高齢者に対して、現状どのように対応しているのか伺う。</p>
			(2) 「軟骨伝導イヤホン」の窓口の設置について	<p>①耳の周囲にある軟骨を振動させて音声を伝える「軟骨伝導イヤホン」を設置している自治体が増えている。「軟骨伝導イヤホン」は、耳の穴に入れなくても明瞭に音が聞こえ、難聴者との意思疎通に役立っていると、自治体、利用者からも評判が良い。また音漏れが少ないことから、個人情報や、プライバシーの保護にもつながる。</p> <p>市でも、高齢者とのより円滑なコミュニケーションを図る上で必要だと考えるが、見解を伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
5	大島 靖浩 (一問一答方式)	1. 燕市における脱炭素社会づくりについて	(1) 燕市ゼロカーボンシティ宣言に係る進捗状況について	<p>第3次燕市総合計画(以下「本計画」という。)によれば、近年、世界各地で多発している猛暑や豪雨などの異常気象は、地球温暖化が原因と考えられており、平成30(2018)年に公表されたIPCC「1.5℃特別報告書」では、世界全体の平均気温の上昇を1.5℃の水準に抑えるため、二酸化炭素排出量を令和32(2050)年頃に正味ゼロとすることが必要とされています。この報告書を受け、世界各国で令和32(2050)年までのカーボンニュートラルを目標として掲げる動きが広がっています。我が国では、令和2(2020)年10月に「令和32(2050)年までに温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする」目標を宣言し、その中間目標として、令和12(2030)年度に平成25(2013)年度比で46%の二酸化炭素排出量の削減を目指している。</p> <p>本計画の戦略4人口戦略を支える都市環境の整備・脱炭素社会づくりとして、カーボンニュートラルに向けた動きの活発化、気候変動による自然災害が激甚化・頻発化する中、地球温暖化対策が喫緊の課題となっており、平成28(2016)年に発行した「パリ協定」のもと、各締約国では「カーボンニュートラル」の政策が強力に進められています。これを受け、国は、令和32(2050)年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする方針を決定し、本市においても、令和4(2022)年6月に「燕市ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、令和32(2050)年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すこととした。今後、産業界や市民等と連携し、具体的な取組を行っていく必要があるとしている。</p> <p>これまで本市では、公有地でのメガソーラー発電所稼働等による再生可能エネルギーの活用のほか、ESCO事業を活用した防犯灯のLED化や燕市中央公民館の空調等の改修、公共施設の照明LED化等により二酸化炭素排出量削減を進めてきた。しかしながら、令和元(2019)年度の削減率は平成25(2013)年度比で20%となっており、国の中間目標を達成するためには、本計画期間中にさらに26%(286千t-CO₂)削減する必要がある。排出量削減には、二酸化炭素排出の主な原因である化石燃料の利用を減らす必要がある。行政の取組だけでなく、市民や事業者の理解と主体的な取組が不可欠となっている。今後は、公共施設における再生可能エネルギーのさらなる活用に加え、市民や事業者の環境に対する意識を高め、官民一丸となって省エネルギー化に向けた取組や再生可能エネルギーの普及を一層推進していくことが重要であるとしている。</p> <p>①全体施策の効果検証として、令和4(2022)年6月に「燕市ゼロカーボンシティ宣言」をして以来、総合的な評価、目標値に対する現在の達成度合いはどの程度か伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
5	大島 靖浩 (一問一答方式)	1. 燕市における脱炭素社会づくりについて	(2) 市民に対する燕市ゼロカーボンシティ宣言の周知と反応	①市民一人ひとりが取り組める省エネ活動等を推進するため、引き続き広報紙やイベント、出前講座などを通じて環境に対する意識を高めるとしているが、広報紙への掲載、イベントの開催回数、出前講座の実施回数と場所及び内容について伺う。また、学校教育現場で環境に係る教育実践はどのような状況か伺う。
			(3) 市内メガソーラー及び小風力発電施設の状況について	①再生可能エネルギーの活用を推進するため、市内2か所目のメガソーラー発電施設を設置する。また、令和4(2022)年度実施の小風力発電実現可能性調査の結果に基づき、公共施設への小風力発電設備導入の検討を進めるとしているが、メガソーラーの現状と課題について伺う。
			(4) 公共施設、住宅及び事業所の省エネ性向上の推進について	①公共施設の改修時、遮熱断熱性能を向上させる工事は実施した経緯はあるか。
			(5) LED化について	①市内の道路に設置している電灯及び公共施設のLED化率について伺う。
			(6) ゼロカーボン・ドライブについて	①「ゼロカーボン・ドライブ」の普及促進、新たに公用車の電気自動車等導入を進めるほか、市内企業への電気自動車等の普及に努め、併せて、再生可能エネルギーを活用した充電施設整備を促進するための支援制度を検討することについて現状を伺う。
			(7) 燕市SDGs(カーボンニュートラル等)取組促進事業補助金交付について	①燕市SDGs(カーボンニュートラル等)取組促進事業補助金交付に係る実績について伺う。

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
6	長井 由喜雄 (一問一 答方式)	1. 柏崎刈羽 原子力発電 所の再稼働 問題につい て	(1) 政府の 柏崎刈羽 原発再稼 働の地元 同意の要 請につい て	<p>①政府は3月に再稼働に向けて地元同意を要請した。こ の中で新潟日報は地元国会議員、県議員、そして30 市町村長にアンケートを行ったが、これについて鈴木 市長の回答はどうであったか伺う。 また、国会議員、県議員のアンケート結果について の市長の見解を伺う。</p> <p>②立地自治体である柏崎市長は全国原子力発電所所在 市町村協議会において、UPZ自治体からの要求・意 見について「行きすぎている」と批判の声をあげてい る。言うまでもなく原発事故は住民の生活のみならず 命にさえ影響を与えるものだ。燕市民の命と暮らしを 守る責任を負う市長はUPZ自治体として再稼働問 題にあたりどう言う声を上げ、どういう行動をとられ るのか伺う。</p> <p>③柏崎刈羽原子力発電所30km圏内（UPZ）議員研究会 が5月15日に「柏崎刈羽原発の再稼働に対して、少な くとも原発から30km圏内の7市町にも直接理解を要 請する取り組み」を要請した。この場において原子力 立地政策室長は、周辺自治体でも幅広い理解が得られ よう説明していく旨を述べた。UPZ自治体は直接的な 当事者であると考えますが、市民の再稼働問題につ いての意見の傾聴、集約などについて市長はどのよう に考えるか伺う。</p>
		2. 市民対象 の自転車ヘル メット購入補助 制度について	(1) 自転車 ヘルメッ ト着用義 務化に伴 う燕市の 取り組み について	<p>①自転車運転時のヘルメット着用については「着用努力 義務」とされており、また同乗する子どもにも着用を 「努力義務」とし、自転車運転時の死亡事故、怪我の 減少へ制度の強化が実施されている。 燕市におけるヘルメット着用の現状と着用率向上に 向けた取り組みはどうか伺う。</p> <p>②小中学校におけるヘルメット着用の状況について伺 う。</p>
			(2) 新潟県 の「子育て 応援プラ ス」事業を 活用した燕 市独自のヘル メット補助 制度につい て	<p>①新潟県のヘルメット着用率は全国最下位の2.4%であ ることが明らかとなり、県は今年度の当初予算におい て、「子育て応援プラス」の「子育て世帯の外出応援」 として「ヘルメット購入補助を行う自治体」に対し18 歳以下1人1,000円の補助を実施するとしている。 市は、以前行いその後事業を取りやめた中学生のヘル メット購入補助を復活発展させ、県の補助要件に上乗 せした補助制度を求めるがいかがか。</p> <p>②先進的に自転車の安全対策を行う自治体では、「児童」 のみならず、「一般」「高齢者」など、住民全体にヘル メット購入補助を行うところもある。燕市も「交通安 全宣言都市」として、これを機に温暖化対策として、 また交通安全の積極的推進のためにも助成の対象を 市民全体とすることを求めるがいかがか。</p>

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発 言 す 議 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
6	長井 由喜雄 (一問一 答方式)	3. 体験活動 支援センタ ーの「風 の子くらぶ」 について	(1) 長年実 施されて きた「風 の子くら ぶ」事業 について	①長年にわたり実施されてきた体験活動支援センターが行う「風の子くらぶ」事業が今年度実施されていない。なぜ事業が突然中止されたのか伺う。 ②この事業は「市内の子どもたちが、異なる学校・異なる年齢で行う様々な体験活動を通じて、協調性や自立心を養うことを目的」に行われてきたと理解しているが、これらを目的とした教育委員会の取り組みは無くしていいのか伺う。
7	佐野 大輔 (一問一 答方式)	1. 燕市内の 高校の今後 について	(1) 高校再 編を見据 えた魅力 化につい て	新潟県では、令和6年度から8年度までの3ヵ年計画である県立高校等再編整備計画を昨年度公表し、また、10ヵ年計画である「県立高校の将来構想」については、急激な少子化の影響を受けて前倒しの検討を進めており、議論を2年早めて今年度中には新たな構想をまとめる予定となっている。 ①現在の燕市内の高校および中等教育学校の志願状況や生徒数の状況を燕市はどのように受け止めているか、また、現状の支援について伺う。 ②燕市として市内の高校および中等教育学校の存在意義をどのように考えているか伺う。 ③県立のため、市が関わる権限は限定的と理解しているが、一方で地域にとって重要な役割を担う各学校が維持できるような仕組みづくりや今後の支援の方向性についてどのように検討しているか伺う。 ④今回の「県立高校の将来構想」の策定に関して、燕市から県に要望を出すような動きはあるか伺う。
		2. 公民館の 今後の在り 方について	(1) コミュ ニティセ ンター化 の有用性 と移行に ついて	公民館は、社会教育法の第20条において、「市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする」として設置されている。 さらには、第23条第1項第1号において「もっぱら営利を目的として事業を行い、特定の営利事務に公民館の名称を利用させその他営利事業を援助すること」を禁止している。 これらの点を踏まえて以下の通り伺う。 ①現状の燕市内の公民館においては、営利事業については市全体としてどのように対応しているか伺う。 ②平成30年12月21日付の文部科学省からの事務連絡では、「公民館が営利事業に関わることを全面的に禁止するものではない」としているが、これを市はどのように受け止めているか伺う。 ③市として公民館の社会教育施設としての目的を踏まえた上で、施設としてコミュニティセンター化に向けた議論を進められないか伺う。 ④形態を公民館（社会教育施設）からコミュニティセンターに変更することでの弊害や課題について伺う。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
8	小林由明 (一問一答方式)	1. 持続可能都市の実現	(1) 子育て環境の充実と男性の育児について	①男性の育児環境を向上するために、男性が利用しやすい、おむつかえ、授乳スペースの設置を進めるべきではないか。
			(2) 三八市について	①車社会の進展、高齢化、市街地中心部の人口減、出店者の減少、いちび開設地域での創業、住宅新設など、都市のありようは大きく変わっているが、市は現在の三八市の状況が現在の都市に適した状況にあると考えているのか伺いたい。 ②かねてより、三八市開設によって生じる通勤時間帯の交通への影響や、通行止めによる銀行、飲食店、商店等利用者への影響、いちびへの移動手段が徒歩から自動車へと変わっているにも関わらず駐車場がないなど、いちび関係者はもちろん、開設地域やそれ以外の方々からも三八市の改善を求める声は上がり続けており、それは年々強いものとなっている。 こうした現状から三八市のありようは「露店営業者の自由公平な経済活動の機会を助長して、経済的地位の向上を図るとともに、市民の消費生活の便益を図る」という条例目的が達成されているとはいえない。 通行止めを解除し、いちびや当地商店等に訪れやすくすることは、結果として条例目的に沿うものであると考えるが、いちびの開設場所の移動についての考えを伺いたい。
		2. 温暖化、省エネ、カスタマーハラスメント対策等、職員を取り巻く環境への対策について	(1) お金のかからない省エネ、業務効率、イメージの向上と職員の服装について	①温暖化、省エネ、多様性、働きやすさ、様々な観点で通年ノーネクタイ、スニーカー等の軽装勤務には意義があると思うが、その導入について市の考えを伺いたい。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
8	小林由明 (一問一答方式)	2. 温暖化、省エネ、カスタマーハラスメント対策等、職員を取り巻く環境への対策について	(2) 職員のカスタマーハラスメント、誹謗中傷被害等への対策について	<p>①カスタマーハラスメントが社会的に問題となつているとともに、インターネットの進展もあり、ネームプレートから個人が特定され私生活に影響を来たすという事案もある。</p> <p>ネームプレートの着用が職務に対する責任感を高め、住民に安心感を与えるという指摘はあるが、近年は不特定多数の人に氏名を提示する利益より不利益の方が大きくなつてきているという指摘もある。</p> <p>職員個人の生活を守るためにも、ネームプレートには氏名表示に変えた別の方法を導入すべきではないか。</p> <p>②そもそも、カスタマーハラスメントは、職員と相手方とのコミュニケーションのズレに起因するものもあるとされている。</p> <p>共感や傾聴の欠如、知識差を無視したやり取り、対応中のため息など、こうしたこともカスタマーハラスメントを惹起するという前提にたてば、職員の接遇力向上は欠かせないものである。</p> <p>市が職員の接遇力向上に注力していることは理解しているが、市民の声などからも職員個々でそれに大きな差があるということも感じている。</p> <p>今一度職員全体の接遇の状況を評価し、さらなる能力向上に努めていただくべきと思うがいかがか。</p>
9	土田昇 (一問一答方式)	1. 空き家対策について	(1) 燕市の現状と課題について	<p>①燕市として長年空き家対策については苦勞されてきていると思いますが、新聞報道によれば新潟県の空き家の数は15万6,000戸と報道されているし、新潟県の都市政策課は「空き家の数の増加は全国的な人口減少が大きな要因とみられる」としているが、国も県も空き家対策特別措置法で対策を強化しているし、県内でも30市町村のうち26市町村が策定しているが、市の状況と取り組みについて伺う。</p> <p>②燕市の空き家の状況と対策および各地区(燕地区、吉田地区、分水地区)の件数について伺う。</p> <p>③相続財産清算人の申し立てで整理するような物件は現在どのような状況か今後の見通しも含めて伺う。</p>
		2. 農業問題について	(1) 飛燕舞の販売について	<p>①農家の所得向上のために飛燕舞という名称で厳しい作付条件を許可された方々しか作付できない状況の中でこの飛燕舞が許可されてきたが、その条件と販売の内容について伺う。</p> <p>②2023年に許可された農家の件数と面積についても伺う。</p> <p>③販売を許可された小売業者の件数と取り扱った数量についても伺う。</p> <p>④2kg、5kg、10kgの販売金額についても他のコメとの格差についても詳細に伺う。</p> <p>⑤条件を守らなかった場合、検査した責任者(食料事務所)は最終責任はどうなるのか伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
10	岡山 秀義 (一問一答方式)	1. いじめと不登校問題について	(1) 市内小中学校におけるいじめの実態と解決に向けた取り組みについて	<p>近年、学校でのいじめが過去最多となる中、政府は対策を強化するため、今年3月22日に関係省庁による対策会議を開き、対応策の方針を改定することを決めた。文部科学省によると、全国の学校が把握した2022年度のいじめの認知件数は663,348件(小中学校)と過去最多となった。不登校児童生徒数は299,048件(小中学校)と増加している。</p> <p>2022年度、新潟県内のいじめの認知件数は18,575件。不登校児童生徒は4,759件とともに増加している。</p> <p>2022年10月改定、燕市いじめ防止基本方針には、『いじめは、いじめを受けた児童生徒の心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならずその生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるものです。本市は、平成20年9月に「教育立市」を宣言し、学校はもちろんのこと、市民と一体となった取り組みを展開し、いじめの防止に努めてまいりました。いじめの問題は、心豊かで安全・安心な社会をいかにしてつくるかという、国民的な課題であり、社会総がかりでいじめの問題に対峙するため、基本的な理念や体制を整備する必要があります。わずかないじめの兆候や児童生徒からの訴え等を見逃すことが無いよういじめ防止に取り組んできました。本方針では、本人が知らないとしても、知ったとしたら傷つく可能性が高い行為もいじめとして見逃さず、組織的に対応することを盛り込みました。また、市内中学校で発生した重大事態を受けて行われた第三者委員会からの提言を踏まえて、いじめ防止とともに、児童生徒の心の変化を理解し、全力で守り育てていくこともねらいとしています。いじめは、どの児童生徒にも、どの学校でも、起こりうる問題であり、いじめに悩む児童生徒を救うため、学校、家庭、地域、その他の関係者の皆様との強い連携の下で、「いじめを決して見逃さない、いじめを決して許さない」という意識を共有し、いじめの防止等に全力で取り組んでまいります。』(一部抜粋)とある。</p> <p>いじめという行為は、受けた子どもに学校生活、時には人生を変えてしまうほどのダメージを与えてしまう大きな問題である。教育立市宣言、子育てするなら燕市でと掲げる本市において、大切な子どもたちをいじめから守るためにより一層の早期発見、早期対応すべき、いじめ防止等の対策を総合的かつ効果的に強く推進するべきであると考えます。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
10	岡山 秀義 (一問一答方式)	1. いじめと不登校問題について	(1) 市内小中学校におけるいじめの実態と解決に向けた取り組みについて	<p>①市内小中学校における、いじめの類似行為を含めた、いじめの認知件数について伺う。</p> <p>②市内小中学校における、いじめの解決に向けた取り組みについて伺う。</p> <p>③いじめに係る子どもたちへのアンケート方法と調査結果について伺う。</p> <p>④こころの専門家スクールカウンセラーと、つなぎの専門家スクールソーシャルワーカーの役割について伺う。</p>
			(2) 市内小中学校における不登校の実態と解決に向けた取り組みについて	<p>①市内小中学校における不登校児童生徒の現状について伺う。</p> <p>②市内小中学校における不登校解決に向けた取り組みについて伺う。</p>
		2. 障がい福祉について	(1) 障がいのある人も安心して健やかに暮らせるまちづくりについて	<p>本市では、障がいのある人も住み慣れた地域、燕市で安心して暮らすことができるよう、相談支援体制を充実させるとともに、障がい福祉サービス事業所の確保を推進することにより、多様なニーズに対応した適切な障がい福祉サービスに必要な支援体制を構築してきた。しかし総人口は減少していく中で、障がいのある人はほぼ横ばい（2023年度4,381人）で推移している。特に医療ケアが必要な方や重度障がいの方々を受け入れる事業所が少ないのが現状である。</p> <p>①特別支援学校卒業後の進路として、生活介護を利用したいが受け入れ事業所が少ない。将来グループホームに入りたいがグループホームが絶対的に足りていないなど多くの不安の声がある。現状について伺う。</p> <p>②コロナ渦以降、施設外作業や委託業者が減少し、利用者の工賃を増やすどころか減らさなくてはならない状況が続いている。委託作業だけでは利用者の工賃向上は難しく、施設外作業等で障がい者が仕事をできる環境を提供できないか伺う。</p> <p>③多様なニーズに対応した障がい福祉サービスの充実と事業所同士の連携を図るためにも市と事業所との話し合いの場が必要と考えるが見解を伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
10	岡山 秀義 (一問一答方式)	3. 学びの里、長善館について	(1) 長善館と長善館史料館について	<p>2022年8月25日、大河津分水通水100周年、未来につながる大事業を終え、市内外の多くの人々に長善館塾生方の心を知っていただくことができた。困っている人を救う慈悲の心、誰にでも親しく接する平等の心、私利私欲を持たない公平無私の心、良寛さまから鈴木文臺先生に引き継がれた心、是正に燕市の宝物を残していただいたと感謝している。度々、長善館について質問をしているが新良寛史料館の策定構想をしている今、先人の灯が消えぬよう長善館と長善館史料館の今後について改めて伺う。</p> <p>①昨年3月定例会にて施設の老朽化、数多くある文化財の展示、所蔵スペースの確保、燕市観光拠点や入館者増加を図るためにも施設の拡充、移設を含めた長善館と長善館史料館の新たな在り方について質問をした。市長より「広い視野をもって、三次元方程式、四次元方程式を解くような心構えで、この検討にあたっていきたい」との言葉をいただいた。方程式はどのくらい解かれたのか伺う。</p> <p>②市長が言われた「長善館が脈々教えてきた人材育成教育の精神」、鈴木文臺先生の言われた「人を教えるものは教わる者の良いところ長所をさらに伸ばし欠点を補って育てるもの」はまさに教育センターに適した地と考えますがいかがか伺う。</p>
11	タナカ・キン (一問一答方式)	1. 都市公園について	(1) 都市公園の今後について	<p>燕市の都市公園は現在70箇所あり、長寿命化計画対象の公園は29箇所を対象外が41箇所となっている。</p> <p>①長寿命化計画とは何か伺う。</p> <p>②長寿命化対象公園の選定条件について伺う。</p> <p>③対象外の公園の管理について伺う。</p> <p>④対象外の公園の今後について伺う。</p> <p>⑤令和6年度、都市公園管理費の中に公園用地借地料116万7千円が計上されている。どこの公園で、いつから借地料が発生しているのか伺う。</p> <p>⑥都市公園遊具定期点検業務委託料が203万5千円計上されている。点検業務に遊具以外は含まれないのか伺う。</p> <p>⑦長寿命化計画対象外も点検されているのか伺う。</p> <p>⑧長寿命化計画対象公園でトイレが設置されているのは何箇所か伺う。</p> <p>⑨そのうち、洋式トイレが設置されているのは何箇所か伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
11	タナカ・キン (一問一答方式)	2. 国上健康の森公園について	(1) 公園の名称の変更について	<p>この公園は長寿命化計画対象の都市公園で道の駅「SORAIRO 国上」の後方に位置している。</p> <p>都市公園のストック効果として観光振興効果が挙げられていることから、もっとアピールすべきである。</p> <p>5月25日(土)、5月26日(日)は道の駅でキッズフェスタのイベントが開催されていたこともあり、公園では見たことがない位の多くの子どもたちが楽しそうに遊んでいた。</p> <p>公園で遊ぶ主役は言うまでもなく子どもたちである。子どもたちがワクワクするような名称に変えた方がいいと思う。</p> <p>①国上健康の森公園の名称の由来について伺う。 ②名称の変更は可能なのか伺う。</p>
			(2) 遊具の増設について	①現在、大小7基の遊具がある。 遊具を増設することで、子どもたちにもっと楽しんでもらえると同時に道の駅の集客につながると思うが伺う。
			(3) 良寛さんの像について	①公園内に良寛さんの像があるのだが、子どもたちが遊ぶ方に背中を向けて設置されている。良寛さんと言えば子どもたちである。子どもたちが遊ぶのを見守っている良寛さんという形に変えることは出来ないか伺う。
		3. 児童遊園について	(1) 児童遊園の設置運営について	<p>燕市は児童遊園の定義として、地域の児童を対象として児童に健全な遊びを与えその健康を増進し、自主性、社会性、創造性を高め、情操を豊かにするとともに、母親クラブ等の地域組織活動を育成助長する拠点としての機能を有するものである。としている。</p> <p>厚生労働省(平成4年3月26日)は、児童遊園の設置運営について、面積は原則として330㎡以上としていて、標準的設備として遊具やトイレ等を設ける必要があるとしている。</p> <p>①市内の児童遊園は何箇所あって面積が330㎡以上あるものは何箇所か伺う。 ②遊具(ブランコ・すべり台・砂場・鉄棒・ジャングルジムなど)が必要だが、無い児童遊園も多く見られる。遊具が無いのは何箇所か伺う。 ③遊具が1基なのは何箇所か伺う。 ④遊具が2基なのは何箇所か伺う。 ⑤砂場があるのは何箇所か伺う。 ⑥トイレがあるのは何箇所か伺う。 ⑦ベンチがあるのは何箇所か伺う。 ⑧飲料水設備があるのは何箇所か伺う。 ⑨児童遊園運営協議会は設置されているか伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
11	タナカ・キン (一問一答方式)	3. 児童遊園について	(2) 児童遊園の今後について	①児童が遊んでいる姿をほとんど見られない現状で、今後についてどの様に考えているのか伺う。
12	渡邊雄三 (一問一答方式)	1. SDGsについて	(1) SDGs未来都市について	①2024年度SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業にW選定された。これは、SDGsの理念に沿った基本的・総合的取り組みを推進しようとする都市、地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における価値創出を通して、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として選定されている。素晴らしいことであるが責務も重大である。選定された意義と、目標達成へどのように取り組みをされるのか伺います。 ②人と自然と産業が調和しながら進化する燕市という提案内容と2030年という目標達成年が第3次燕市総合計画と同じですが、関連性について伺います。 ③教育委員会として、SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業に選定された事をどのように捉え、今後取り組みをされるのか伺います。
		2. 耐震改修について	(1) 地震災害時命を守る備えについて	①地震時、耐震性がない危険性の高い木造住宅の耐震化の必要性と、木造住宅耐震化事業の現状について伺います。 ②住宅リフォーム助成対象工事の中にある、耐震関連工事の耐震補強工事(部分補給工事)・耐震シェルター設置工事・感震ブレーカー設置工事を燕市木造住宅耐震化事業に移すことができないか伺います。
13	稲村隆行 (一問一答方式)	1. 農業について	(1) 農業の担い手不足への対応について	①本市の遊休農地・耕作放棄地の発生状況について、現状をお伺いします。 ②遊休農地・耕作放棄地の発生について、今後の見通しとその対応方針について伺います。 ③農地集積等により、規模を拡大する農家の方に対する、更なる支援の必要性について市の考えをお伺いします。
		2. 新型コロナワクチンについて	(1) 新型コロナワクチン接種後の健康被害について	①本市における新型コロナワクチン副反応疑い報告の数と予防接種健康被害救済制度に申請された方の数をそれぞれお伺いします。 ②新型コロナワクチン接種後の健康被害が全国で広がっていることに関する市の認識をお伺いします。 ③新型コロナワクチン接種後の健康被害救済制度について、これまでの市民への周知方法と、今後どのように周知していく考えかお伺いします。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
14	小林 秋光 (一問一答方式)	1. ポータブルバッテリーの廃棄について	(1) 燕市におけるポータブルやモバイルバッテリーの廃棄の現状について	<p>①近年、ポータブルバッテリーやモバイルバッテリーの普及が進み、それに伴い、リチウムイオン電池を含む製品の廃棄方法が大きな問題となっています。不適切に廃棄されたこれらのバッテリーが原因で、全国各地でごみ収集車やごみ処理施設での火災が増加しており、燕市でも同様の問題が発生していることが懸念されています。市民の安全と環境保護の観点から、この問題に対して適切な対策を講じることが急務です。現状把握と課題の認識について伺います。</p> <p>②燕市のゴミカレンダーにはポータブル電源やモバイルバッテリーは回収しないと言う表記がされていますが、それに関して市の考えを伺います。</p>
		2. 燕市における経済状況の分析と問題提起	(1) 現在の経済状況の概要	<p>①令和6年1月1日に発生した能登地方の地震、およびコロナウイルスの影響により、燕市の経済は大きく落ち込んでいると認識しています。具体的には、地元の飲食店、産業、小売店などの事業者の売上が大幅に減少していますが、現状について市として把握しているのか伺います。</p> <p>②物価高騰、資材や人件費の高騰と事業者の経営に大きな負担が掛かり利益率が減少し、多くの事業者が経営困難を訴えているのが実情です。事業者支援と燕市の経済の活性化を図る為の施策は検討されているのか伺います。</p> <p>③5月末で電気代・ガス代の国の補助は終了となり、より一層経済状況は悪化すると見込まれます。コロナ禍でのフェニックス応援クーポン券の発行は、燕市独自のクーポン券であり、再発行を望む声が多いです。これについて再発行を検討しているのか伺います。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
15	宮路 敏裕 (一問一答方式)	1. 介護保険事業について	(1) 事業者を取り巻く現状と介護保険法改定に係る問題点について	<p>①民間調査会社の調べでは、昨年、介護事業所倒産が過去2番目、休廃業・解散が過去最多であったこと、その内、訪問介護が全体の7割を占めていると公表。また、厚労省の資料でも、収支赤字の訪問介護事業所が3年連続4割を占めていることが明らかになっている。物価高や人手不足などが背景にあると云われるが、市内の事業所においても、同じ状況を推察されるが、市として把握していることを伺う。</p> <p>②この度の介護保険法改定では、訪問介護基本報酬が引き下げられることにより、訪問介護事業所収入減で、相当数休廃業に至る恐れがあること、その結果利用者にとっても行き場がなくなり住み慣れた地域で安心して暮らし続けられなくなるとして、ホームヘルパーの全国団体など引き下げの撤回、再改定を求めているが、所見を伺う。</p> <p>③燕市介護保険事業計画では、要支援・要介護認定数は2035年まで増加を見込み、在宅介護ニーズへ対応した基盤整備が今後も求められる。介護人材、特にホームヘルパーの人材不足が全国的には指摘されるが、市として市内事業所の現況をどう見ているのか、伺う。</p> <p>④介護支援専門員・ケアマネジャーの担当利用人数が、今年度33人から44人に増えたが、介護認定高齢者の増に見合うケアマネ人材は確保されているのか、現況を伺う。</p> <p>⑤この度の介護報酬改定では、事業者は「介護職員等処遇改善加算」一本化にあたり、事務手続きが複雑だという声がある。小規模事業所など、書類提出上の支援が必要ではないか、所見を伺う。</p>
			(2) 介護サービス利用者支援について	<p>①新潟県が実施した高齢者基礎調査において介護サービスに関する要望として、家計が苦しいという人では「介護サービスの利用料を安くしてほしい」ということが、一番多い回答であった。市では低所得者対象に「在宅介護保険サービス利用者負担軽減事業」があるが、概要と該当者の人数を伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
16	田中 淑子 (一問一答方式)	1. 英語教育について	(1) J a c k & B e t t y プロジェクトについて	<p>私達の年代は周りに外国人がいなく中学に入って初めて英語を勉強しました。しかも、文法が中心で会話はほとんどできなく英語の先生も日本人で発音がかなり違いました。でも、今は身近に外国人の先生がいらっしゃり、生きた発音を聞く事ができ、大変恵まれています。その上、燕市は J a c k & B e t t y プロジェクトが有り、早い段階から英語に親しむことができます。</p> <p>もちろん勉強は英語だけでなく通訳や翻訳を目指す人はそれなりに勉強をしなくてはなりません、遊びながらコミュニケーションができ楽しむことができるのは英語です。NHKで「英語であそぼ」という番組がありました。中学生は文法や単語をうまく使うことが必要ですが、小学生にはいかに興味を持ってもらい、苦手意識をなくしておくことが大事で有効だと思います。</p> <p>① どのような目的でこのプロジェクトができたのか伺います。</p> <p>② 今後の目標を伺います。</p>
		2. 観光業について	(1) 観光業について	<p>① コロナも5類になり人の動きも活発になり円安でもある為、海外からの観光客も増えています。年内には旅行業の取得も可能のようですが、今後どんな考えや計画をお持ちか伺います。</p>